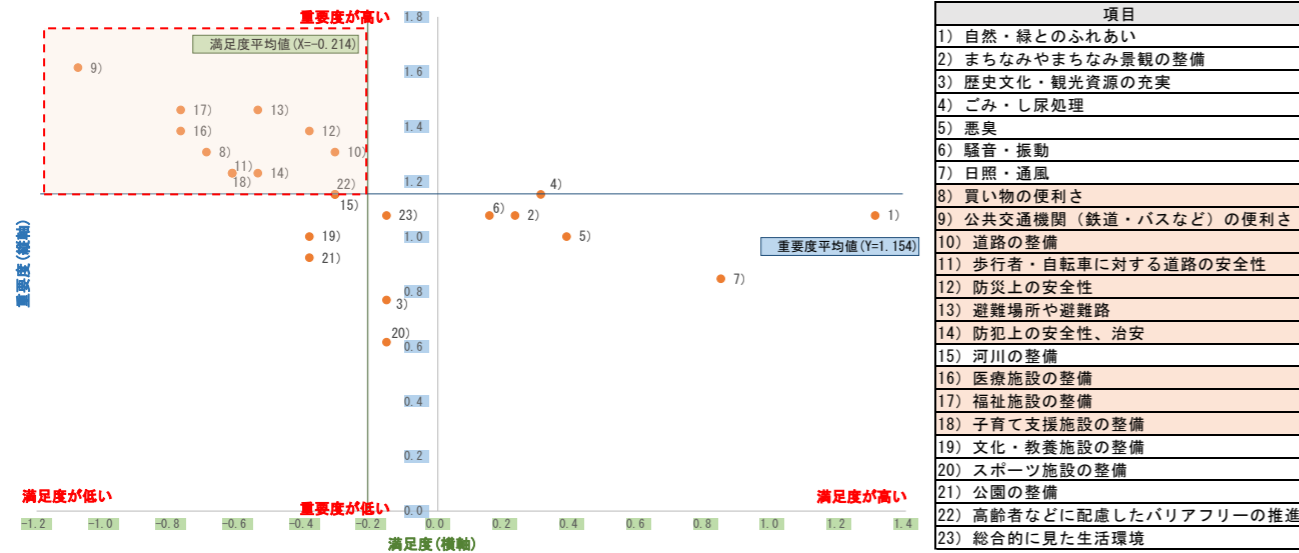


1. 市民アンケート・地域別説明会の意見等

1-1 市民アンケート結果（西浦地域のみ）

- 「居住地域における生活環境」では、平均より重要度は高いが満足度が低い項目として、「9）公共交通機関（鉄道・バスなど）の便利さ」、「16）医療施設の整備」、「17）福祉施設の整備」などの10項目があがっています。



- 「居住地域における現在の土地や建物の状況」では、「耕作を放棄した農地が増えてきた」の割合（53.9%）が最も高くなっています。
- 「敦賀市の今後のまちづくりの方針」では、「雪や災害に強いまちづくりを進める」の割合（18.4%）が最も高くなっています。

1-2 第1回地域別説明会における意見等

- 令和2年2月6日（木）に縄間ふれあい会館にて開催しました。参加人数：3名。
- 主な意見等は以下のとおりです。

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 西浦地区は都市計画区域に入っていないため、建ぺい率など気にせず建てている人もいる。 限界集落に近いようになってきているところはこの先どうなるかわからない。 将来、他所から来た人が平気で建物を建てられるようなことに対して、すぐに規制をかけることはできるのか。
防災	<ul style="list-style-type: none"> 今年の台風のとおり、ある地域で電柱が倒れて道路が封鎖されたことがあったが、陸路だけでなく、大きな船を利用し海路で逃げられるような場所を作ってはどうか。 原子力があったときに、道路をもっと大きくして避難道路として有効にするという話があったのに全然守られていない。
原子力	<ul style="list-style-type: none"> 西浦地区には原子力発電所があり、人口は少ないが原発に勤めている人は多いと思う。 原電があるから工業用地になっていると思うが、これから整備を進めていくのであれば、就業するための用地の整備も進めてほしい。
人口減少	<ul style="list-style-type: none"> この地域は特に、田舎に住みたくないという若者が多く、一人暮らしの高齢者が亡くなっても若者が住んでくれない。 30代以下の若い人がいない。

2. 現行計画の評価

- 平成21年度に改訂し、2020年をもって将来目標年次を迎えた現行計画について、市関係各課の実績をヒアリングし、達成状況を評価しました。

（新たな計画から追加します）

3. (1・2を踏まえた) 地域における現況と課題

- 原子力発電所が設置されており、地区住民の半数以上がPAZ（発電所からおおむね半径5km）内に居住しています。
- 急傾斜地の指定箇所が多く点在しています。
- 立石トンネルが開通されたことにより北側の就業環境が向上しています。
- 水島、西方ヶ岳、蛸螺ヶ岳といった観光拠点の保全が求められます。
- 漁業場の環境整備が実施されています。
- 人口減少及び地域コミュニティの衰退がみられます。
- 鳥獣被害があります。

4. まちづくりのテーマ・将来に担うべき都市機能

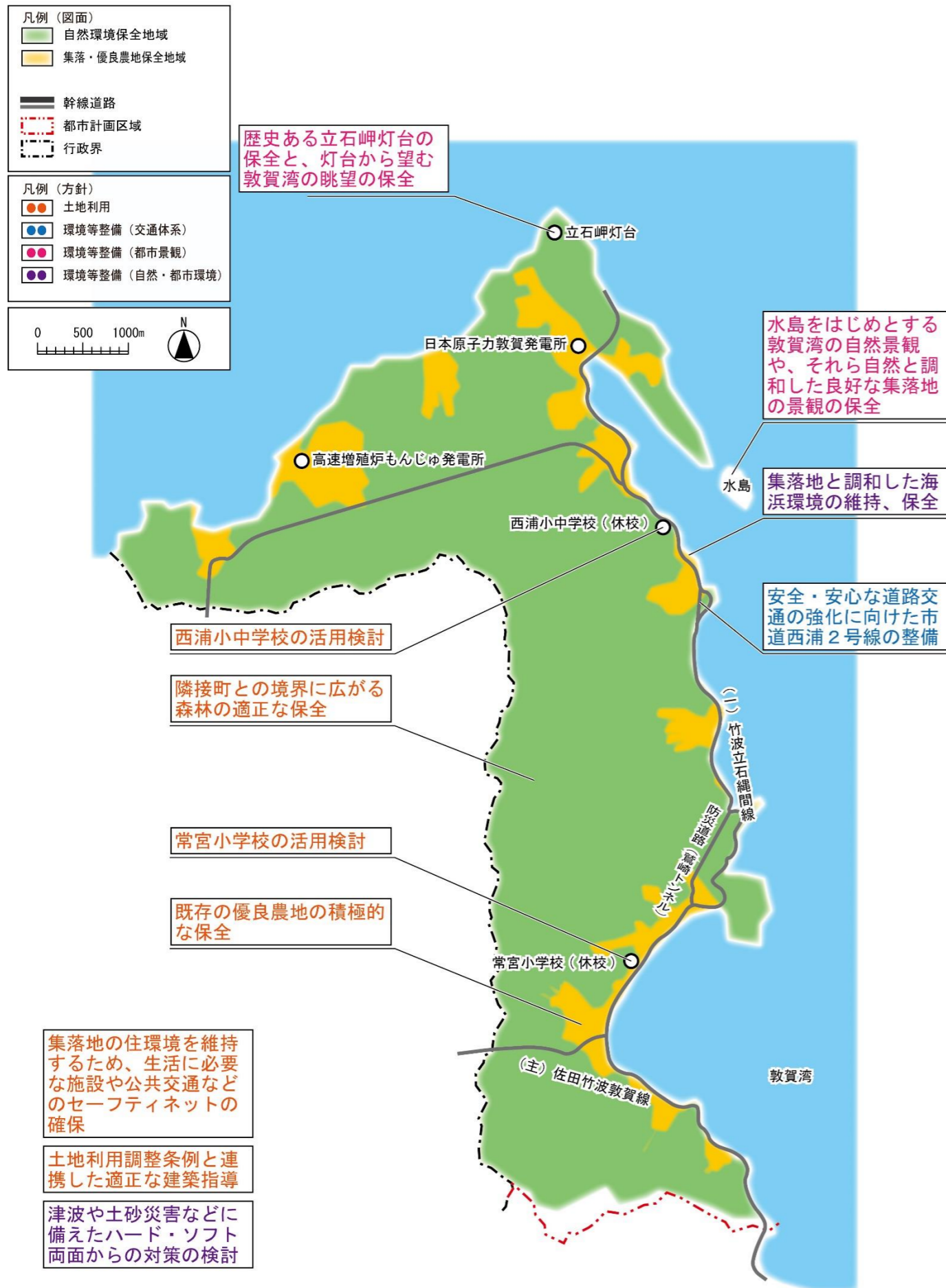
4-1 まちづくりのテーマ

豊かな地域産業を活かしながら安全・安心に暮らせるまち

4-2 将来に担うべき都市機能

●安全・安心な環境の保全	<p>原子力発電所の立地や急傾斜地の指定箇所の存在などに留意しながら、安全・安心に暮らせる住環境を形成します。</p> <p><基本的な考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> 原子力発電所の立地や急傾斜地の隣接から、安全対策が求められています。 既存集落地の居住環境の維持が求められています。
●海辺資源の活用とコミュニティの維持	<p>水島や西方ヶ岳の自然景観・景勝地の観光や水産業などの地域産業の強化を図るとともに、地域コミュニティの維持を図ります。</p> <p><基本的な考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、注目されている水島への観光客の誘導や漁業地整備による水産業の強化、海岸沿いの民宿など、地域資源の活用が求められます。 海岸沿いに多数見られる民宿や住宅地の維持が求められています。
●自然環境の維持・保全	<p>急傾斜地の指定箇所の存在や鳥獣被害などに留意しながら、豊かな自然環境を維持・保全します。</p> <p><基本的な考え方></p> <ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地が地区に多くみられ、自然災害による崩壊防止策や、鳥獣被害による対策等が求められています。

5. まちづくり方針図と各種方針（案）



西浦地域 土地利用の方針



用途地域外	自然環境保全地域	<ul style="list-style-type: none"> 隣接町との境界に広がる森林については、今後も適正に保全
	集落・優良農地保全地域	<ul style="list-style-type: none"> 既存の優良農地については、国の各種制度などを活用しながら、積極的に保全 集落地の住環境を維持するため、生活に必要な施設や公共交通などのセーフティネットを確保 土地利用調整条例と連携しながら、適正な建築指導 西浦小中学校や常宮小学校の活用検討

西浦地域 環境等整備方針

交通体系	<ul style="list-style-type: none"> 安全・安心な道路交通の強化に向けて、市道西浦2号線の整備推進
都市景観	<ul style="list-style-type: none"> 水島をはじめとする敦賀湾の自然景観や、それら自然と調和した良好な集落地の景観保全 歴史ある立石岬灯台の保全と、灯台からの望む敦賀湾の眺望保全
自然・都市環境	<ul style="list-style-type: none"> 集落地と調和した海浜環境を維持・保全するため、環境美化に取り組む 津波や土砂災害などに備え、ハード・ソフト両面からの対策検討

敦賀市都市計画マスタープラン策定に関する第2回地域別説明会（西浦地区） 開催結果

■開催概要

開催日	時間	場所	参加人数
1月22日（金）	19：00～19：15	縄間ふれあい会館	1人



■参加者からの意見等

	意見	回答
●地域別構想の方針（案）		
土地利用の方針／集落・優良農地保全地域		
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 西浦小学校・中学校は何か利用してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 角鹿小中学校が今度できて、他にも休校になる学校が結構あるが、場所によって、活用方法は変わってくると思う。 市全体として、いわゆる空き学校といったものを、これからどうやって活用していくかというのが、今課題として挙がっている。
農地	<ul style="list-style-type: none"> 農地や空き地が増えてきており、農地は荒れてくると思う。 	—

※後日、改めて区長会にて説明することとした。

■開催概要

開催日	時間	場所	参加人数
2月25日（木）	18：30～19：00	縄間ふれあい会館	10人

※地区区長会において説明

■参加者からの意見等

	意見	回答
●その他		
都市計画マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> 具体的に、10年後、20年後にどのように進めていくのかが見えれば、もう少しすっきりする。 	—
	<ul style="list-style-type: none"> 担当職員の部署転換になれば、継続性が途切れるというところもある。 	<ul style="list-style-type: none"> 人事異動により担当者が変わったとしても、都市計画マスタープランや総合計画を意識しながら事業を進めていくことで、一つの方向性の整合が図られると考える。
パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> 6月頃に、具体的な計画内容が公表されるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 4月頃にパブリックコメントとして市民にお示しする予定である。
	<ul style="list-style-type: none"> 日にちは決定しているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現時点においてはまだ未定である。
地域別説明会	<ul style="list-style-type: none"> 第2回の説明会では、西浦地域の参加者が1人であったが、通知は行っていたのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回地域別説明会の反省も踏まえ、あらゆる方法により広報を行った。
	<ul style="list-style-type: none"> 市からは文書で通知されるだけなので、通知方法を考えるべきである。 案内文を出すのはいいが、区長などに連絡などを行わないと人が集まるのは難しいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 広報誌やRCNなどにより広報を行ったところだが、天候や個人の諸事情により出席できなかった方もいらっしゃると思われる。